

68th FEFCO

Forest Ecosystem Function Colloquium (FEFCO) は、地域や地球全体のレベルで森林生態系の機能とその持続的活用法を統合的に理解することを目的とし、研究機関の学術交流を推進します。

第68回森林生態系機能コロキウムは、志水克人博士にご講演いただきます。どなたでも参加できますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。京都大学農学研究科森林生態学研究室がポストを務めます。

68th FEFCO

2024/6/3 16:35 - 18:00

Faculty of Agriculture Main Building, W522

Language: Japanese

志水克人 (Dr. Katsuto Shimizu)
森林総合研究所四国支所



↑ Zoom form for
registration

衛星リモートセンシングを利用した森林撈乱と その要因の抽出

人為的な森林撈乱は生態系サービスに影響を与えることから、森林撈乱の場所と時期、さらに要因を抽出することは森林管理において重要となる。近年の衛星リモートセンシング技術の発達とオープンデータ化により、これまで困難であった森林を対象とした長期かつ広域の森林撈乱抽出の解析が可能となっている。発表者はこれまで日本や東南アジアを対象として衛星リモートセンシングデータを利用した時系列解析によって、国全体の伐採箇所のマッピングなどの森林撈乱とその要因の抽出解析に取り組んできた。本発表では、森林撈乱抽出の研究手法と現在取り組んでいる研究課題を紹介し、衛星リモートセンシングデータを用いた広域モニタリングへの応用可能性について議論する。